

「セブンとレオ」

福永聖和

あらすじ

仙台で病気療養中の母と離れ、祖父の家で暮らす玲生。

卒業式の後、自分を捨てた父が突然姿を現した。

不本意ながらも母の願いで父と二人、東京から仙台まで車で母の待つ病院に行くことになった。

登場人物

弾 (36)：玲生の父親。日本中を旅する生活を送っている。

杏奈 (34)：玲生の母親。病気で療養中。

玲生 (12) 本編の主人公。

義久 (60)：玲生の祖父で杏奈の父。大企業の社長。

秘書 (30)：義久に忠実な秘書。

○成城学園周辺の駐車場

駐車場に軽自動車が止まる。

軽自動車から降りてくる弾。

ダボダボのデニムのスーツタイプのセットアップ。

ドレスシャツを着ている。

中折ハットを斜めに被り、自分の姿をウインドーで確認する。

本人はドレスコードを意識しているつもり。

弾：よしっと

歩き出し駐車場を出ていく弾。

注意深くみないとわからないが右足を引きずっている。

○成城学園 初等学校 講堂

卒業式が行なわれている。

卒業証書を代表して受け取る玲生。

紺のスーツにエメラルドグリーンネクタイを締めている。

○成城学園初等学校 講堂

講堂から両親と一緒に出てくる卒業生達。
楽しそうな家族の様子。
周りを見ながら、一人で講堂から出てくる玲生。
思い思いに喜ぶ様子の家族の中、俯き歩く玲生。
先生と思われる男性が玲生を呼ぶ。

先生：玲生！玲生はいるか！？

声に気づいて返事をする玲生。

玲生：はい！先生、ここにいます！

玲生に近づいてくる先生。

先生：校長先生がお呼びだ

○成城学園初等学校 校長室

ソファに校長が座り、向かいに弾が座っている。
弾はハットを脱いでいる。
ドアがノックされる。

校長：どうぞ

校長室のドアが開く。

玲生：失礼します

玲生が校長室に入ってくる。
玲生は校長に近づく。

玲生：お呼びですか？

校長：お母さんからの申し出があつてね

玲生：母さんから！…ですか？

校長：今日はお父さんと帰りなさい

玲生：父？……僕に父はいません

校長：いや、この方が君の一

軽く手を上げて校長を制する弾。

弾は立ち上がって、玲生に向き直る。

弾：卒業おめでとう

玲生は戸惑いの表情。

○成城学園初等学校 校門

弾が校門から出てくる。

だいふ離れて玲生が後ろを歩いている。

○成城学園周辺 駐車場

弾が駐車場に入ってくる。

離れて玲生もついてきている。

弾は軽自動車の前に立つ。

軽自動車の隣には高級車が駐車されている。

高級車に行こうとする玲生。

弾：そっちじゃない、こっちの車だ

ガッカリした顔の玲生。

弾：色々言いたいこともあると思うが、母さんに会いたい気持ちはオレも玲生も同じだ
ろ？

玲生：おじいさんが迎えに来てくれて、新幹線で母さんに会いに行くことになりました

弾：いや、新幹線では行かない

玲生：早く母さんに会いたいです

弾：母さんからのお願いがあって車で行くことにした

玲生：新幹線の方が早いじゃないですか！

弾：車で二人揃って来てほしい。それが母さんからの伝言だ

玲生：嘘だ、聞いてない！

弾：聞いてみるか？

○成城学園周辺 道路

軽自動車がのんびり走っている。

○成城学園周辺 道路 車内

弾が運転している。

玲生は母親に電話している。

玲生：本当にこの人、お父さんなんですか？

○仙台市 病院 個室

目にクマがあり、頬が瘦けた杏奈。

具合は悪そうだが息子との会話が嬉しそう。

玲生の隣に父親の弾がいることがなにより嬉しい杏奈。

杏奈：間違いなく、あなたのお父さんよ

○成城学園周辺 道路 車内

玲生：僕、早く母さんに会いたかった

○仙台市 病院 個室

杏奈：甘えん坊さん…そういうところはお父さん似ね…私は玲生とお父さんと二人で会いに来てほしいの

○成城学園周辺 道路 車内

玲生：新幹線の方が早く着いて、早く会えます！

○仙台市 病院 個室

杏奈：私も早く会いたいわ…でも玲生に知ってほしいの、あなたのお父さんという人の生き方を…楽しみに待ってるわよ、二人が仲良くこの部屋に入ってくること…

咳込む杏奈。

○成城学園周辺 道路 車内

玲生：大丈夫ですか？心配しないで安心して待っててください

○仙台市 病院 個室

杏奈：優しいわね。そういうところもお父さん似ね…

○成城学園周辺 道路 車内

弾は運転しながら杏奈に声が聞こえるように大声で玲生のスマホに向かって話す。

弾：杏奈！必ず二人で会いに行くから心配すんな！お前はゆっくり休んどけ！

玲生：母さん、すぐ行くからゆっくりしててください

○仙台市 病院 個室

杏奈：弾に…父さんに宜しく伝えて。玲生…愛してるわ

○成城学園周辺 道路 車内

玲生：僕も愛してます…また電話します…

通話を切る玲生。

弾：同じ女を愛する者同士、仲良くなれそうだな

玲生：僕はあなたを認めてません！

成城学園周辺の道路を走る軽自動車。

○祖師ヶ谷大蔵駅 ウルトラン前

車を止めて降りる弾。

不満げな表情で降りる玲生。

玲生：早く母さんのところに行くんじゃないんですか！？

弾：焦んなよ、よく話し合っソウゴリカイしろって母さんからの命令なんだ

玲生：だからってなんでここで

弾：お前、ウルトラマン好きなんだろ？

玲生：誰から

弾：母さんからだよ。ウルトラマンシールとかウルトラマンの便箋の手紙送っただろ

玲生：そんなの着てませんけど

弾：嘘つくなよ、オレは誕生日と月に一回一

玲生：嘘つきはどっちですか！？メールだってなんだってあるのに

弾：DM だって送っただぜ！？

玲生：言い訳はいいんで。ここに寄った理由は？

弾：ウルトラマン好きだっていうから

玲生：毎日見ってます

弾：好きなウルトラマンは？

玲生：…

弾：なんだよ、言ってみろよ

玲生：…レオ

○世田谷区 車道 車内

運転しながら笑っている弾。

ふくれっ面の玲生。

玲生：何ニヤニヤしてるんですか？

弾：まさか自分と同じ名前のウルトラマンが好きだなんて

玲生：だから言いたくなかったんです！

弾は運転しながら玲生の様子を横目で見ると。

弾：うそだよ…知ってたよ

窓に映る弾を見る玲生。

弾：言ったろ、誕生日の度に手紙送ってたって

玲生：…

弾：レオの便箋で送ったこともあったよ

玲生：…届いてません

弾：そうか…

玲生：お祖父様があんな薄情な人間とはつきあうなって…僕や母さんを捨てたんでしょ？

弾：言い訳はしないけど…家を出たのは間違いだったと思ってる

玲生：今さら…

運転する弾。

標識を見ると「東北自動車道」の文字。

弾：母さんのところに行く前に、話しながら行こう

玲生：僕は…あなたが嫌いです

弾：……わかった。じゃあ嫌いから…そこから始めよう

高速道路に入る軽自動車。

クランクや上り坂があり軽自動車は見えなくなる。

○高速道路 車内

カーラジオから低く音楽が流れている。

窓の景色を見て無言の玲生。

弾は玲生に話しかける。

弾：なあ、腹は空かないか？

玲生：…

弾：病院まで結構時間かかるぞ

玲生：寄り道なんかしないで早く行ってください

弾：わかったよ。でも寄り道はするぞ

玲生：どこに！？

弾：連れていきたいところがあるんだ

玲生：母さんに早く会いたい！

弾：オレもだよ。でも母さんに見せてやってくれって頼まれたんだ

玲生：…母さんとは話すことあるんですか？

弾：よく電話するよ。メールもするし、SNS から DM も。お前にもメール送ったけど返事が返ってこない

玲生：それも届いてません

弾：ブロックされてるわけじゃないのか？

玲生：わかりません。お祖父様に設定してもらってるから

弾：そうか

玲生：…

カーラジオを切る弾。

弾：そこのダッシュボードから CD 取ってくれないか？

玲生はため息をついてダッシュボードを開ける。
CD や写真がなだれ落ちてくる。

玲生：少しは整理整頓したほうがいいですよ

玲生は下に落ちた CD と写真を拾い上げる。
玲生は一枚の写真に目が釘付けになる。

玲生：これは？

横目でチラッと写真を見る弾。

弾：それは若い頃の母さんとオレだ

玲生：この人が抱いているのは？

弾：…お前だよ

写真のアップ。
赤ん坊の玲生を抱く弾と横で微笑む杏奈。
少しくたびれた写真。

弾：さみしくなるとそいつを見るんだ

弾を見る玲生。

弾：手紙を書くときも…母さんから画像は送られてくるが、オレはデータじゃなく手に取れる写真の方が好きでな…だからまだ CD を聴いてる

玲生：どの CD？

弾：お前が選んでくれるのならどれでもいい

玲生は写真を大切に抱えたまま、一枚の CD を弾に渡す。

弾は CD のジャケットをみてニコリと笑う。

弾：センス良いな。…I believe か

玲生：有名なの？

弾：もちろん。有名な格闘家の入場テーマになるくらい…よく母さんと二人で聞いたな

玲生は写真に目を落とす。

玲生：…聴いてみたい

弾：了解

弾はデッキに CD をセットする。

運転しながらなので再生ボタンを手探りで押そうとする。

押そうか悩んでいる玲生。

玲生が再生ボタンを押す。

○高速道路 車内

日が落ちてきている。

夕方前。

玲生は正面を向き座っている。

写真は手に持ったまま。

玲生：なんで卒業式来てくれなかったの？

弾：仕事の帰りだったんだ

玲生：僕の卒業式より仕事の方が大事？

弾：違う。そうじゃない

玲生：なんの仕事してるんですか？

弾：オレの仕事は…なんて言えばいいかな

玲生：人には言えない仕事？

弾：それも違う…違うけど…あんまり人には言いふらしたくないな

玲生：やっぱり

弾：やっぱりって何だよ

玲生：お祖父様が言った。他人様から金をせびって歩いてるって。自分のしたい事のために人から金を巻き上げてるって

弾：そんなことはしてないよ

玲生：母さんは知ってるんでしょ？

弾：もちろん！応援してくれてる

玲生：僕は息子なんでしょ？だったら僕にも知る権利がある

弾：権利ときたか

笑う弾。

玲生：誤魔化さないで教えてください

弾：希望を届けてる

玲生：ふざけないでー

真面目な表情になる弾。

弾：子供たちに。希望を

真面目な雰囲気を感じ取り黙る玲生。

○那須高原サービスエリア

ベンチに一人で座っている玲生。

後ろから弾がホットドッグとコーラを差し出す。

受け取り、ホットドッグを食べ始める玲生。

食べ始めた玲生を見て、弾も隣に座りホットドッグを食べ始める。

弾：オレは昔からダンスをやってたんだ

玲生：モダン？まさかクラシックじゃ…

弾：そういう上品なのじゃない…ブレイクダンスだよ

玲生：あの不良みたいな人たちが踊るやつ？

弾：まあお前から見ればそう見えるかもな

玲生：違うの？

弾：昔、ニューヨークの貧困地区に住んでた悪ガキ共が暴力じゃなく音楽で解決しよう。

ダンスで勝負しようって始まったのが最初さ

玲生：逆だね。暴力ふるう人がやってるんじゃなく、暴力ふるう代わりにダンスで決めるなんて

弾：だけど、大会の最中足を怪我してしまって…母さんと出会ったのは丁度そんな時だった

玲生：どっちから声かけたの？

弾：オレからって言いたいけど…母さんからだ

○弾のフラッシュバック

歓声上がるステージを足を引きずりながら、後にする若い頃の弾。

階段に座り、缶ビールを煽る弾。

杏奈：具合悪いんですか？

弾が顔を上げると若い頃の杏奈。

フラッシュバックあける。

弾：まるでトニーとマリアだった

玲生：なにそれ

弾：玲生に彼女が出来たら一緒に観てみるといい

玲生は首をかしげる。

弾は玲生の頭を撫でる。

弾：オレは全国の施設の子供たちにダンスを教えに行ってるんだ

立ち上がる弾。

弾：そろそろ行くか…寄り道もあるし

車に向かう弾。

慌てて口にホットドッグを入れて、後を追いかける玲生。

玲生：待ってよ！

弾と弾を追いかける玲生の後ろ姿。

○高速道路 車内

弾と玲生は打ち解けた風に二人で話している。

玲生：なんでお祖父様はあなたを悪く言うの？ちゃんとお仕事もしてるのに

弾：…儲からないからな。子供達からは貰ってないし

玲生：何を？

弾は指でお金のハンドサインをする。

弾：ダンスの教室に通うってつっても金がかかるだろ？でも施設にいる子たちはそんなお金はどこにもない。だから子供達からやりたいって連絡があった時に絶対どんなことをしても行くんだ

玲生は真剣な表情で考えている。

弾：そのせいでお前にはさみしい思いを一

玲生：会社にすればいいんだ。僕が大人になったら会社にして SNS で発信して協力してくれる会社をみつけたり、クラウドファンディングで協力を募ったり

弾：オレは？

玲生：連絡がきたら子供達のとこに行ってください。だってそれが仕事でしょ

笑う弾。

弾：雇ってくれるか？

玲生：もちろん！共同経営者だよ！

賑やかになる車内。

○高速道路 東北自動車道

高速道路を降りる車。

玲生：まだ仙台に着いてないよ

弾：ここで寄り道するんだよ

玲生：ここで？

玲生が標識を見ると「安達太良山 SA」の文字。
一般道を通り、上りの高速道路に乗る軽自動車。

○安達太良山 SA 駐車場

軽自動車が止まる。

○安達太良山 SA 駐車場 車内

シートベルトを外す弾。
シートベルトを外しながら向かい側を見る玲生。

弾：お前に見せたいものがあるんだ

玲生：ここに？

車を降りる弾と玲生。

弾：こっち、こっち

二人並んで歩く。

○安達太良山 SA 駐車場 自販機

弾：あれだ

指を指す弾。
玲生が自販機を見る。
ウルトラセブンが立っている。

玲生：セブンだ…

弾：ウルトラマンが好きだって言ってたろ？だから一度見せてやりたかって母さんと話してたんだ

玲生：凄い…

弾：よく聞いてろよ

弾は自販機にお金を入れてボタンを押す。
自販機から「デュワッ！」というセブンの声。

玲生：セブンの声だ

弾：買ってみるか？

玲生も自販機の前に立ちボタンを押す。
「デュワッ！」というセブンの声。
セブンの前ではしゃぐ玲生。

弾：オレはセブンが一番好きだな

玲生：なんで？

弾：セブンはレオの師匠だろ…写真撮るか？

玲生はスマホを取り出す。
弾は手を差し出す。
玲生は周囲を見渡すとカップルが歩いてくる。

玲生：すみません！写真お願い出来ますか？

カップルは快く応じる。

玲生：父さんと二人で写してほしいんです！

弾：玲生

男性：じゃあ並んでー！

玲生：父さん、こっち！早く！

弾：わかった

ウルトラセブンの前で並んで立つ弾と玲生。
シャッター音がなり、二人とウルトラセブンの静止画。
男性がスマホを玲生に返す。

玲生：ありがとうございます！

玲生はスマホを受け取り弾の元に駆け寄る。

スマホの写真を見る玲生。

玲生は弾の顔を見上げる。

玲生：どうしたの？

弾：なんでもない。もうすぐ着くって母さんに電話するか

玲生：うん！

○安達太良山 SA 駐車場 車内

助手席に座る玲生と運転席の弾。

玲生：母さん！？セブンみたよ！うん、すごかった！父さんが連れてきてくれたの！！

○仙台市 病院 個室

身体を起こしてベッドに座る杏奈。

杏奈：良かったわね！うん、うん

○安達太良山 SA 駐車場 車内

玲生：セブンの声も聞けた！それにね、親切な人が写真も撮ってくれたんだよ！うん！

弾に伝える玲生。

玲生：母さんも父さんと二人の写真みたいって！

弾：母さん驚くぞ！

玲生：うん！

弾：病院まで二時間位で着くって言ってくれ

玲生：うん！母さん、あと二時間で着くって！

玲生：それからね、父さんのお仕事も聞いたよ！子供に希望を届けてるって！父さんってウルトラマンみたい！

○仙台市 病院 個室

杏奈：…ええ

薄っすら涙ぐむ杏奈。

○安達太良山 SA 駐車場 車内

玲生：僕がレオで父さんはセブンだ！

○安達太良山 SA 駐車場 自販機

ウルトラセブンが見守っている。

○仙台駅 新幹線改札口

義久（60歳）が改札を出てくる。

その後を秘書と思われるスーツ姿の男性がついていく。

義久：あの、穀潰し…おい、用意はしてあるな

秘書：もちろんで御座います

義久：二度と杏奈にも玲生にも会わせん。わかってるな

秘書：はい。もちろんで御座います。

義久：校長も無責任なことをしておって…東京に戻ったら責任を取らせてやる

○仙台市 仙台宮城 IC

ICの出口から軽自動車が出てくる。

○仙台市 一般道 車内 夕方

助手席からの景色を物珍しそうに眺める玲生。

玲生：ここが母さんの入院してる街

弾：玲生は仙台は初めてか？

玲生：うん

弾：こっちは空気が良いから母さんも良くなるよ

玲生：入学式には間に合うかな

弾：そうになったら嬉しいな
玲生：二人で……来てね
弾：母さんが退院してたとしたら…二人で行くよ
玲生：約束だよ！
弾：約束だ

拳と拳を合わせる弾と玲生。

弾：……なあ玲生
玲生：なに？
弾：お前さえ良かったらなんだが、明日のダンスワークショップ来るか？
玲生：えっ！？
弾：もちろん母さんと一緒にいたいだろうから無理には言わんが
玲生：行く行く！母さんに聞かせてあげなきゃ！父さんの仕事してるとこ
弾：よろしく頼む

太陽が沈み始め、オレンジと青の混ざった仙台市内を軽自動車が走っていく。

○仙台市 市立病院 廊下

弾と玲生が会話をしながら歩いている。

弾：母さんとは久しぶりか？
玲生：冬休みから会ってない
弾：デカくなってて驚くんじゃないか？
玲生：だったら嬉しいけど
弾：ここだな…よし入るか

中折れ帽を脱ぎドアをノックする弾。

○仙台市 市立病院 病室

ノックの音が聞こえドアが開く。
ベッドに座る杏奈。
ベッド横の付き添い席に座る義久。
その後に秘書が立っている。

義久がいることに驚く、弾と玲生。
義久は立ち上がる。

玲生：お祖父様…

弾：ご無沙汰してます。杏奈、ただいま

杏奈：おかえりなさい

杏奈と弾はハグをする。

杏奈：玲生、こっちいらっしやい

玲生：ただいま母さん

杏奈：卒業おめでとう

玲生を抱きしめる杏奈。

義久：よくぬけぬけと顔を出せたな

杏奈：父さんやめて

義久：杏奈は黙ってなさい。これからは何も心配いらない。玲生、こっちに来なさい

杏奈の隣から動かない玲生。

義久：何か吹き込まれたのか？詐欺師みたいな男だぞ？

玲生：お祖父様…

義久：どうした？

玲生：手紙はどうしたんですか？

義久：手紙？

玲生：父さんからの…手紙です

義久：ああ、こいつからの手紙なら全部処分したよ。どうせ金の無心に決まって—

玲生：違う！父さんはそんな人じゃない！

義久：玲生は騙されてるんだ…お前何を玲生に吹き込んだ！？

弾：…

義久：目的はどうせ金だろ？

義久は首で秘書を促す。

秘書はアタッシュケースから小切手を取り出し、義久に渡す。

義久は小切手を弾の前のベッドに置く。

義久：受け取れ。

弾：これは？

義久：お前たちもこの男がどういう人間かよく見ておきなさい。五千万の小切手だ…お前にくれてやる

弾：どういう意味ですか？

義久：しらばっくれおって。手切れ金としては桁が一つ違うが、今後二人に近づかないことを条件にこれをお前にやると言ってるんだ

弾：…

義久：杏奈と玲生の前だからって格好つけることはない

弾：受け取れません

義久はため息をつく。

義久：わかったわかった。都内のどこかにスタジオも建ててやる。それでいいだろ？

心配そうな玲生。

玲生を見る弾。

目と目が合う弾と玲生。

弾：僕が来た目的は……

義久：なんだ言ってみろ

弾：家族を迎えにきました

玲生：父さん

杏奈：あなた

弾：だからこれは受け取れません

義久：お前に家族などいない。杏奈と玲生を置いて行った分際で家族だとう？ふざけるな！

弾：過ちは認めます。でも僕は、いやオレは同じ過ちを繰り返さない。杏奈と玲生と一緒に帰ります

玲生：父さん！

弾：玲生、行くか？

玲生：うん！

義久：ならん！そんな血の繋がりもない男と一

杏奈：父さん！

義久はしまった！というハッとした表情をする。

玲生は杏奈の顔と弾の顔を見る。

玲生：嘘だよな？血が繋がってないって嘘でしょ？ねえ母さん、僕を産んだのは母さんでしょ？

頷く杏奈。

玲生：父さん！僕父さんの子供でしょ？

唇を強く噛む弾。

玲生：嘘つき！やっぱ嘘つきじゃないか！

病室を飛び出して行く玲生。

弾：玲生！

杏奈が発作が起きて胸を押さえる。

息が荒くなる杏奈。

背中をさする弾。

杏奈：私は大丈夫だから玲生をお願い。あの子にはあなたが必要なの

弾：わかった

玲生の後を追う弾。

義久は我に返り秘書に命令する。

義久：早く医者を呼べ！

秘書：はい！

慌ててナースコールを押す秘書。

○仙台市 市立病院 駐車場 ベンチ

下を向いて座る玲生。

走って追いかけてきた弾が姿を見つけて近づいてくる。
玲生は弾に気づくが顔は下を向いたまま。

弾：夜はまだ冷えるな
玲生：…

弾は玲生の隣に座る。

玲生：僕が本当の子供じゃないから置いて行ったんですか？

弾：……

玲生：血が繋がってないから

弾：オレと杏奈が出会った話したろ？

玲生：…

弾：その時お腹の中には玲生がいたんだ。その男は杏奈が妊娠したことを知ったら連絡がつかなくなったらしい…オレは杏奈に言った。オレの子として育てたいと…毎日少しずつ杏奈のお腹が大きくなりお前が育っていくのをそばでずっと見守ってた。

○フラッシュバック

杏奈がソファに座りお腹をさする弾。

弾：産まれてきた時もオレが一番に抱き上げた。獅子座でライオンのように強い男になってほしいと願って玲生と名前を決めたのもオレだ

○フラッシュバック

恐る恐る玲生を抱き上げる弾。

弾：誰が何と言おうと、お前の父親はオレだ

玲生：……

弾は星を見上げる。
空に星が光っている。

弾：玲生、見てみろよ

ゆっくりと玲生は顔を上げる。
弾は星空を指さす。

玲生は星空を見上げる。

弾：あれが獅子座だ

玲生は指さす星を見る。

弾：お前の好きなウルトラマンレオはあの獅子座 L77 星で生まれた…セブンは M78 星雲のウルトラの星で生まれた…どういうことかわかるか？

玲生：どういうこと？

弾：セブンとレオは血が繋がってないんだ

玲生：ホントに？

弾：ホントさ。じゃあ玲生に聞くが、レオと弟のアストラはウルトラマンじゃないのか？

玲生：ウルトラマンレオだよ

弾：だろ

玲生：うん…M78 星雲はどこ？

弾：それはわからないなあ…オレもどこで生まれたのか…父さんと母さんがどんな人だったのか…

玲生の顔を見てさみしげに笑う弾。

玲生：…

弾：さっきお前が飛び出して行ったから母さん驚いて発作起こしあんだぞ。早く母さんのところに行こう

玲生：うん

弾は病室へ向かい歩き出す。

玲生は弾の後ろをついて行く。

玲生は後ろからそっと、弾の左手を握る。

雲一つない綺麗な夜空で星が光輝いている。

終

